

2021年6月のレコードコンサート

☆…今月のテーマ【フルーティスト】

♣…ジャズビギナーにオススメ

	日	曜日	管理番号	ジャケット名	アーティスト	ひとこと
☆	1	火	09871	ムーンスケープ	ベニー・モービン	全体のサウンドに透明感があり、他とは一味違うファンキーな作品
	2	水	—	休館日		
	3	木	01697	藤	日野 皓正	原点曲にふさわしくシンプルに構成された1枚
♣	4	金	03703	スピーク・ロウ	ウォルター・ビショップ・ジュニア	ハード・バップ史を歩んできた名ピアニストの最高傑作
☆	5	土	07251	アンジェリカ	ルー・タバキン	2人の天才トランペッターを迎えてのピアノレス・カルテット作品
	6	日	08141	オレオ	grant・グリーン	「記念日」1935年6月6日生
☆	7	月	00908	レゲエ	ハービー・マン	フルート王者がジャマイカ発祥のポピュラー音楽に挑戦したアルバム
	8	火	04088	ザ・ダイレクト・ディスク・サウンド・オブ・グレン・ミラー	ジミー・ヘンダーソン	グレン・ミラー・オーケストラの十八番を完全にセレクト
	9	水	—	休館日		
☆	10	木	10789	モストリー・フルート	サム・モスト	ビバップの世捨て人の演奏によって甦るアルバム
☆	11	金	01109	モーニング・スター	ヒューバート・ロウズ	2人の楽器奏者と音楽プロデューサーによるコラボレーション作品
	12	土	03599	リターン・トゥ・フォーエヴァー	チック・コリア	「記念日」1941年6月12日生
			—	ブルー・ウェーブ・ジャズ・フォーラム・レコードコンサート ボサ・ノヴァ・ヴォーカル・コンプリート「最高のスイングでヴォーカルを牽引」		
☆	13	日	04985	ランニング・ザ・ガムット	ジェームス・ムーディー	自己のグループによるのびのびと開放的なセッション
	14	月	11259	パステル・ブルース	ニーナ・シモン	ブルース的なフィーリングの中のアプローチが聴きどころ
	15	火	00184	コンサート・バイ・ザ・シー	エロル・ガーナー	「記念日」1921年6月15日生
	16	水	—	休館日		
☆	17	木	08008	サテン・ドール	ボビー・ハンフリー	黒人女性のジャズ・フルート王者によるファンキーな演奏が楽しめる一枚
☆	18	金	00348	オパス・イン・スイング	フランク・ウェス	オリジナリティに溢れたサヴォイ・レコード・レーベルの魅力ある演奏のひとつ
	19	土	01798	ロンサム・キャット	渡辺 香津美	最強のクロスオーバー・リズム・セクションをバックにニューヨークで録音
☆	20	日	00178	アイアン・マン	エリック・ドルフィー	「記念日」1928年6月20日生
	21	月	00146	ハッピー・セッション	ベニー・グッドマン	アメリカ西海岸の異色のメンバーを集めて吹き込んだセッション
☆	22	火	07955	ドミノ	ローランド・カーク	初期のカークを語るには欠かせない代表作
	23	水	—	休館日		
	24	木	08971	ザ・サウンド	トゥーツ・シールマンズ	豊かな歌心・活気溢れるハーモニカが魅力
☆	25	金	06862	タマミ・ファースト	小宅 珠実	日本で初めてのジャズ・フルーティストによるリーダー作
	26	土	10140	レ・ジャズ・モード	ジュリアス・ワトキンス チャーリー・ラウズ	フレンチ・ホルンとテナー・サクソによる珍しい双頭コンボ
			—	ブルー・ウェーブ・ジャズ・フォーラム・レコードコンサート 行方均氏執筆解説で内田修ジャズコレクションを聴く マイルス・デイヴィス『カインド・オブ・ブルー』		
☆	27	日	07220	ユセフ・ラティーフ・イン・ナイジェリア	ユセフ・ラティーフ	異色のリード奏者ラティーフとナイジェリアのミュージシャンによる録音
♣	28	月	09835	マンハッタン・シンフォニー	デクスター・ゴードン	完成されたテナー・ブローを聴かせる78年の快作
☆	29	火	05437	アウトローズ	ジェレミー・スタイグ	ジャズ界の天才スタイグと豊かな想像力を持ったベーシスト：エディ・ゴメスの共演作
	30	水	—	休館日		